



[11月27日 5年生
ふれあいミュージアム]

まほろば学習発表会

例年11月中旬に開催している学習発表会「まほろばフェスティバル」は、春から取り組んできた「総合的な学習の時間」の学習を保護者の皆さんに発表する一大イベントでしたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の広がりで、開催を断念せざるを得ませんでした。

本校ではESD(持続可能な開発・発展を目指した教育)の視点に立った学習に取り組んでいますが、その課題設定から発表までの一連の学習—主体的・対話的で深い学び—を通して、子どもたちに①考える力②計画を立てる力③コミュニケーション力④協力する態度⑤つながりを尊重する態度⑥進んで参加する態度などを育ててきました。

今年は、残念ではありますが、保護者の方々の参観は取りやめ、低学年、中学年、高学年に分かれて、日を分散して開催することとしました。

1・2年生発表会—12月3日

1年生のテーマは、「じどうしゃくらべ~ならったことをいかして~」でした。興味を持った自動車が「どんな仕事に使われているのかな?」「どんなつくりになっているのかな?」という課題で、一人一人が本を調べ、それをしっかり文章にまとめることができました。そしてこの日、2年生の前で、姿勢を正して堂々と発表することができました。



12月3日 1年生の発表

2年生のテーマは、「うごくおもちゃのつくりかたをつたえよう」でした。実際に自分で作った体験をもとに、材料、作る手順、遊び方など、段落を分けて一つ一つ丁寧に、順序立ててまとめることができました。そして、それを1年生の前で大きな声で発表することができました。

3・4年生発表会—12月7日

3年生のテーマは、「なるかのじまんを見つけよう」でした。実際に現地へ行って見たこと、本で調べたこと、インタビューをして聞いたことなどをまとめ、絵や図、紙芝居やペープサートを使ってとても分かりやすく発表することができました。聞いている人に、私たちのふるさと「鳴鹿」ってすごいね、と思わせる、素晴らしい発表でした。



12月7日 3年生の発表



12月7日 4年生の発表

4年生のテーマは、「食育—食べるの不思議!?!」、今年是一人一研究で課題に取り組みました。体の仕組みや野菜の栄養、病気の原因など、日常生活の中でふと疑問に思ったことなどについて調べました。発表はポスターセッション形式だったので、発表者の説明を聞

近に聞くことができ、また、説明の後はすぐに質問ができるなど、とても活発な発表の場となりました。一人一人がグラフや図を工夫しながらプレゼンを行い、3年生にもわかりやすく説明することができました。

5. 6年生発表会—12月18日

5年生のテーマは、「鳴鹿の自然を考えよう—農業、エコそしてSDGs」でした。SDGsとは、「Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標」という、私たちが今直面しているあらゆる社会的課題について、2030年までに達成を目指している17の目標のことです。

その目標に向けて、「今の私たちがまず取り組むべきこと、私たちにできること」を、農業やエコの面から調べ発表してくれました。地域へ発信するためのポスターやチラシ、のぼり旗を作るなど、今後の活動がとても楽しみです。



12月18日 5年生の発表



12月18日 6年生の発表

6年生のテーマは、「日本が抱える課題について、自分たちができることを発信しよう」でした。今私たちが直面している深刻な問題—「災害」「心の健康」「水不足」「人口減」「貧困」「孤独死」「食品ロス」「健康寿命」「インフラ老朽化」「気候変動」—など、かなり専門的な内容まで踏み込んで調べ、それをポスターセッション形式で発表しました。

ESD (Education for Sustainable Development) とは？

ESD は「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

6年生 蕎麦打ち体験教室

12月7日(月)、辰川鳴鹿コミュニティセンター長さんにお世話いただき、6年生の「蕎麦打ち体験教室」を開催しました。例年、蕎麦を打ち茹で上げ試食するまでを行っていましたが、感染予防対策のため、蕎麦打ちのみの教室としました。

今回は、高校生の蕎麦打ち指導もなさっている永谷彰啓先生に講師をお願いしました。各工程の作業のポイントを簡潔に教えていただいた後、実際に蕎麦打ち作業に入りました。2名ペアで、先生から実技指導を受けながら作業を進めていきましたが、子供たちは、かつて体験したことがあるらしく、水まわし、こね、延ばすなどの工程をとっても手際よくこなしていました。「蕎麦打ちってこんなに楽しいんだ」—子供たちの達成感あふれる表情が印象的でした。



12月7日 6年・そば打ち体験教室

各学年のひとコマ …スナップショット



11月27日 1年 幼保園交流会



12月8日 3年消防署・警察署見学